



THE ROTARY CLUB OF SADOWARA WEEKLYBULLETIN

# 佐土原ロータリークラブ週報

1997～98年度 RIテーマ

国際ロータリークラブ会長 グレン・W・キンロス



## ロータリーの心を

あなたの住むところ 私たちの世界 そこに住むすべての人々に

—四大奉仕部門すべてを通じて— ロータリーの心を示そう

- クラブ奉仕—あなたのクラブに ロータリーの心を
- 職業奉仕—あなたの職業に ロータリーの心を
- 社会奉仕—あなたの地域社会に ロータリーの心を
- 国際奉仕—私たちの世界に ロータリーの心を

### ロータリー理解推進月間

第492回 平成10年1月30日(金)

#### [本日のプログラム]

1. 点 鐘
2. ロータリーソング  
「それでこそロータリー」
3. 食 事
4. 会 長 の 時 間
5. 幹 事 報 告
6. 各 委 員 会 報 告
7. 点 鐘

I. M. リハーサル

#### 次回予告

\* 2月6日(金)  
2月セレモニー  
会員卓話  
福井輝文君

\* 2月13日(金)  
夜間例会  
会員卓話

#### 佐土原ロータリークラブ

例会日	毎週金曜日(12:30~13:30) 第2金	19:00	会 長	徳丸 彰一
例会場	石崎浜荘 ☎0985-73-1913		副会長	加藤 仙之
事務局	宮崎郡佐土原町大字下田島20614		幹 事	梶田 與之助
	山脇医院長自宅内		会 計	福井 輝文
☎880-02	☎(FAX)0985-73-7170		会 員 課 長	垂水 敏雄

## 第491回例会記録

(1998. 1. 23)

### ☆会長の時間

徳丸彰一君

皆さん今日は、本日は第491回例会です。昨夜から今日の午前中にかけて県内山間部では5～10cm、多いところでは30cm以上もの積雪があり、南国日向は久しぶりに大雪となりました。

宮崎気象台の気象情報では、明日はこの冬一番の強い寒気が流れ込み、県内各地とも今日より寒くなるであろうとのことです。お互い風邪には十分注意しましょう。

ところで、先日の新聞に、日本が世界最高のものが三つあると書いてありました。一つは国民の平均寿命だそうです。

二つ目は国民の貯蓄高です。乳児からお年寄りまで全部含めて一人平均430万円になるそうです。そして三つ目は、家庭に在る品物の種類の多さが挙げられました。日本が7,000種類、2位のドイツが5,000種類だそうです。

そう言われれば、例えば食器にしても私たちの家庭には、湯飲み茶碗、ご飯茶碗、汁碗、丼、皿類、鍋類等用途に応じた数多くの種類が揃えてあります。

これからは、生活に必要最少限の物だけを整え、不用品や粗大ごみの廃棄場所に騒動するようなことは自粛すべきだと、狭い国土の将来を考えたとき、つくづく思った次第です。

### ☆幹事報告

梶田興之助君

1. 例会変更通知は来ていません。
2. 函師鎮雄ガバナーより次のように通知がありましたので、ご連絡いたします。

岩城ガバナーノミニー辞任のお知らせ

この度ガバナーノミニー岩城 巖君より健康上の理由で辞任届が提出されました。承りますれば実にやむを得ないことと拝察され、12月4日をもってこれを受任することにいたしました。

同氏は熱意と抱負をもって既にガバナーノミニー事務所を開設され、次年度に對し着々と準備を進め、3月開催の国際協議会に向け満を持しておられ、私共大いに期待申し上げていたところですが、誠に残念な次第であります。

この上は、療養に専念され一日も早くご快癒されますよう祈念いたします。

なお、岩城ガバナーノミニー事務所は閉鎖いたしましたので、当分の間、ガバナーノミニー関係につきましては、函師ガバナー事務所で代行いたします。

### 国際ロータリー第2730地区1998-1999年度ガバナーノミニー決定について

標記について、地区ガバナー指名委員会委員長三重野パストガバナーより、1998年1月12日付、1998-1999年度地区ガバナーノミニーとして、1999-2000年度次期ガバナーノミニーの鮫島哲也君を選出した旨の報告を受けました。

よって、地区ガバナーは鮫島哲也君を1998-1999年度地区ガバナーノミニーと決定することを宣言いたします。

次年度のためのPETS等の変更について

ガバナー月信11月号(5ページ)でご案内いたしました次年度(1998-99年度)のためのPETS及び地区協議会の日程並びに会場を、ガバナーノミニ-交替の関係で下記のとおり変更いたしましたのでご案内申し上げます。

記

□PETS(会長エレクト研修会)

日時 1998年4月12日(日)  
会場 未定

□地区協議会

日時 1998年5月10日(日)  
会場 日向市文化交流センター  
日向市中央公民館

□地区大会

日時 1998年11月21日(日)  
会場 日向市文化交流センター  
日向市中央公民館

☆出席報告

委員長 宮原 建樹 君

会 員 数	25名
H C 出席者数	21名
欠 席 者 数	4名
出 席 率	84%
メイクアップ者数	-
修正出席率	-
欠 席 者 名	山本・神宮寺・林 <sub>原</sub> ・林 <sub>幸</sub>

6ヶ月無欠席を目指して頑張りました。継続は力なり1!

☆親睦委員会より

委員長 吉田 康一郎 君

1. 1月9日(金)にホテル神宮寺で開催しました新年家族懇親会の会費についてお知らせいたします。

当日の料理・飲物代が168,000円で、出席者32名で均等割りしますとお一人5,250円になりますが、5,500円づつ集金させていただきました。残金はハッピー会計に繰入れたいと思います。

次回の例会で集金いたしますので、よろしく願い申し上げます。

(出席者全員了承)

2. 昨日、高鍋RCの安積親睦委員長から次回の『歯車会』ゴルフコンペの期日について問い合わせがありました。

私は、IMが終わって3月上旬頃はどうでしょうかと返事しておきましたが、今度は佐土原RCが当番になりますので、その節はよろしくおねがいいたします。

3. 新富町の当クラブ入会希望者山本さんは、宮元外科医院に入院されましたので、後日例会にご案内したいと思います。

☆R I 財団委員会より

委員長 濱田 松太郎 君

米山奨学会から1997年度半期の普通寄付金及び特別寄付金の依頼が来ております。ご承知のとおり、米山梅吉氏はわが国のロータリークラブの創立者で、米山奨学金は、外国から日本に留学している学生への貴重な学資金であります。

どうぞ一層のご理解を賜り、寄付金へのご協力をお願い申し上げます。

☆記念講演『新興感染症とその周辺』

(要旨)

宮崎医科大学 副学長

南 嶋 洋 一 先 生

19世紀末は、種々の疾患の病原体が発見された細菌学の黄金の世紀末であった。20世紀末の今、感染症（微生物によって起こる病気）は、その病原体の種類を増やし、再び世界的な関心事となっている。最近20年位の間に出現した今までに知られていなかった新しい病原体による新興感染症はその代表である。

また、一旦終息したと思われていたものが再燃した再興感染症もその例である。

本来感染症に国境はない。一方人類は「移動するヒト（ホモ・モビリタス）」である。大航海時代にはヒトの動きが一地方の感染症を一気に世界中に拡散させたように、感染症は人類の移動と深く関わって、世界史をつくって来た。特に、多くの発展途上国に常住し、そこに住む人達の主要な死亡原因である感染症・寄生虫症は、今や地球規模の関心事である。

いわゆるボーダーレスの時代に入り、島国である我が国においても、海外へ出かける人の数が1700万人に達する昨今、海外の感染症はそのまま国内問題となりつつあり、その対策にもはや鎖国的な発想は通用しない。また、国外にあっては、熱帯感染症は国際化の障壁の一つでもある。加えて、熱帯雨林は未知の微生物を含む生物の宝庫であり、熱帯を中心に次々と新しい新興感染症が出現しつつある。それらはヒトの集団に新しく出現した感染症、あるいはある地域から他

の地域へ急速に広がりつつある感染症である。その病原体としてウイルスを例にとれば、ヒト社会に新しいウイルスが出現する機序としては、新しい変異ウイルスの出現（インフルエンザウイルスはその好例である）、他の動物のウイルスのヒト集団への導入、特定地域の小集団に生息していたウイルスのヒト社会への急速・広範な拡散、などが挙げられる。

その背景には、農業・森林の開発に伴う野生動物との接触、政治的・宗教的・経済的理由による難民の発生と移動、都市への人口流入、性的乱交、地球の温暖化に伴う蚊の生息地域の拡大と生息環境の変化（灌漑・水槽など）、交通機関の発達、医療などに伴うウイルスの移動・輸送が深く関わっている。。

すなわち、新興感染症は人類が自らの手で作り出したものであるという側面がある。

このような状況の下で、先進国の一つである我が国の国際保健協力の役割は大きく、その成果に大きな期待が寄せられている。

今回は、新興感染症を中心に、特にウイルス感染症を生態学的な観点から眺め皆様方と『地球規模で考え、地域で活動、しよう』というWHOのスローガンを共有したいと思います。

(IM当日の記念講演は、特に後半が佐土原RC・ご夫人の皆様は、いろいろご多忙な時間帯にかかるとお考えですので、山脇中部分区代理に届けられたご講演要旨を転載しました。詳細は後日配布の「記録誌」をご覧ください。)